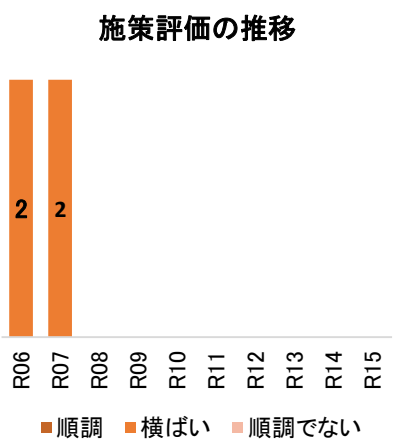
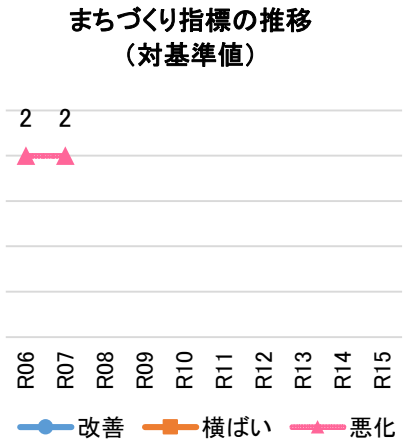
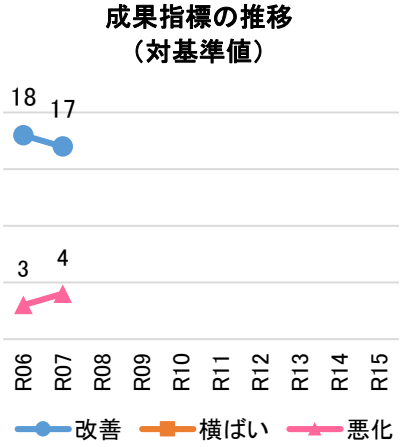
めざすまちの姿1　子ども・子育て分野
～安心して子育てができ、子どもが健やかに育っている～

■施策評価の推移

施策名	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
子どもや子育て世代への支援	横ばい	横ばい								
子どもの学び・体験への支援	横ばい	横ばい								







■指標の状況(対基準値)

■まちづくり指標

子育てしやすいまちであると感じている18歳以下の子どもを持つ人の割合　　-1.9% 低下
夢や目標を持っている児童生徒の割合　　-2.9% 低下

■成果指標

改善	81.0%	横ばい	0.0%	悪化	19.0%

■関連する個別計画

総合福祉計画
子ども・子育て支援事業計画
とうかい教育夢プラン
学校施設長寿命化計画

めざすまちの姿　01　安心して子育てができ、子どもが健やかに育っている

分野　1　子ども・子育て

施　策　01 子どもや子育て世代への支援

主管課：こども課

■施策の目標

子育て世代が、安心して出産・子育てができ、子どもが安心して生活できるまちになっています。

■施策の基本方針

親子の心身の健やかな育ちを推進するため、子育てに関する相談体制を充実させるとともに、多様なニーズに対応した保育を提供するほか、障がいや貧困などの困難な状況にある家庭への支援など、それぞれの家庭環境に対応した妊娠期から子育て期を通じた切れ目のない支援を推進します。

また、事業者や各種団体などと連携しながら、子育て世代に対して子どもの居場所づくりを推進します。

■施策実現の財源投入状況　（単位：千円）

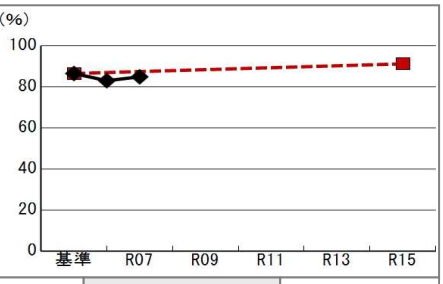
予算	R07年度	10,563,950	対前年比	115.9%	
	R06年度	9,117,990			
決算	R07年度	10,120,213	対前年比	113.8%	
	R06年度	8,896,410			

■まちづくり指標の推移

子育てしやすいまちであると感じている18歳以下の子どもを持つ人の割合（%）

指標NO.0001　【指標特性】上がると良い指標

基準値		86.4				
R06実績		82.9				
R07実績		84.8				
R08実績						
R09実績						
R10実績						
めざそう値	R10	88.7				
	R15	91.1				
対基準値		悪化	R15めざそう値達成率		-34.0%	
対前年比		改善				



こども課

基準値						
R06実績						
R07実績						
R08実績						
R09実績						
R10実績						
めざそう値	R10					
	R15					
対基準値			R15めざそう値達成率			
対前年比						

■施策全体の評価　横ばい

指標動向

・まちづくり指標は基準値から1.6 ポイント低下している。年齢別のまちづくり指標で比較すると、60歳以上の世代では基準値よりポイントが低下している一方、20代の若い子育て世代が高い評価である。

施策全体評価の要因分析

・まちづくり指標は基準値から低下しているものの、成果指標は改善しているものが多くみられることから、施策全体としては横ばいと評価する。
・市広報をはじめ、子育てアプリなど若い世代に届きやすい媒体を活用して本市の子育て施策を効果的に発信したことにより、若い世代からの評価向上につながったと考える。
・公立保育園や民間保育所における待機児童数が増加した要因として、物価高騰等を背景とした共働き世帯の増加や女性の活躍推進に伴い、低年齢児の入所希望が増加したことに加え、特別支援児等の増加により保育士の確保が追い付かなかったことが影響していると考える。
・「放課後児童クラブの待機児童数」が発生していないことに加え、「乳幼児健診受診率」、「地域子育て支援拠点等の利用者数」及び「障がい児福祉サービス延べ利用者数」が増加していることから、子育て世帯への支援の充実につながっているものと考える。

今後の方針

・引き続き、各種媒体等を活用しながら子育て情報を発信し、それぞれの家庭環境に対応した妊娠期から子育て期を通じた切れ目のない支援を推進していく。
・多様なニーズに対応した保育の提供に向けて、園庭等に日よけネットを設置するなど、保育士の負担軽減を図るとともに、引き続き保育士確保に努める。

単位施策 01 **親子ともに健やかな育ちを推進する**

主管課：健康推進課

評価
横ばい

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
乳幼児健診受診率（%）	92.8	96.8	94.3	96.1	改善
子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合（%）	95.2	96.2	96.3	95.8	改善

成果指標動向

「乳幼児健診受診率」は、基準値から改善しており、前年度から1.8ポイント改善している。
「子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合」では、基準値からは改善しているが、前年度からは0.5ポイント低下している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
03-02-01	妊婦支援給付金給付事業	92,654	88,939	
活動結果	すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産子育てができるよう、医療機関等で妊娠が確認された者及び、出産後胎児の数の届出をした者に対して、妊婦支援給付金を支給した ・対象者　妊娠が確認された者841人、胎児の数の届出をした者748人（出産・子育て応援事業として）前年度出生児136人 ・支給額　妊婦又は出産した胎児1人当たり　50,000円		決算の内訳（主なもの）	
			1節	1,521
			18節	6,800
			19節	79,450
			課名	
			【こども課】	
03-02-08	児童手当給付事業	2,879,805	2,802,570	
活動結果	子育て世帯等の経済的負担を軽減するため、18歳までの児童を養育している方を対象に、児童手当を支給した ・対象者数　延べ215,607人 うち16歳～18歳　延べ40,018人		決算の内訳（主なもの）	
			1節	2,965
			3節	846
			19節	2,798,165
			課名	
			【こども課】	
04-01-04	乳・幼児健診事後相談事業	5,189	5,003	
活動結果	発達発育に関し経過観察を要する児や発達課題をもつ児と保護者に対し、遊びや相談を通して発達を促すとともに、保護者へかかわり方の助言や発達の気付きを進め、進路等の支援を実施した ①すこやか健診 23回　②ふきのとう教室 66回 ③発達支援教室 24回　④プレ療育教室　108回		決算の内訳（主なもの）	
			1節	920
			7節	692
			12節	3,141
			課名	
			【健康推進課】	
04-01-04	妊産婦・乳児健診事業	118,383	111,258	
活動結果	妊産婦・乳児の健康を守るため妊婦・産婦・乳児の健診を助成し、乳児健診の問診項目等を追加して実施した ・妊婦健診 14回　・多胎妊婦健診　5回 ・産婦健診　2回　・新生児聴覚検査 1回 ・乳児健診　2回　・初回産科受診料 1回		決算の内訳（主なもの）	
			10節	491
			12節	107,326
			18節	2,956
			課名	
			【健康推進課】	
04-01-04	産後ケア事業	5,112	5,112	
活動結果	出産後1年以内の産婦と乳児を対象に医療機関等での宿泊等による療養上の世話や授乳指導、保健指導等を実施し、母親の身体的な回復と心理的安定を促進しセルフケア能力の育成や母子の愛着形成を促し健やかな育児ができるよう支援した ・委託料 1人1日当たり 12,500円（上限7日） ・多胎加算1人当たり　4,000円 ・利用者数　163人　利用日数　延406日		決算の内訳（主なもの）	
			10節	21
			12節	5,091
			課名	
			【健康推進課】	

単位施策 02 **多様なニーズに対応した保育を提供する**

主管課：幼児保育課

評価
順調でない

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
公立保育園、民間保育所などの待機児童数（人/年）	9	17	76	84	悪化
多様な保育ニーズに対応できる場所があると感じている１８歳以下の子どもを持つ人の割合（%）	64.5	64.2	66.6	67.3	改善

成果指標動向

・「公立保育園、民間保育所などの待機児童数」は、基準値より75人、前年度より8人増加している。前年度比の内訳としては、0歳児が12人増加、1歳児が15人減少、2歳児が11人増加しており、1歳児では減少したものの、低年齢児の待機児童が増加している。
・「多様な保育ニーズに対応できる場所があると感じている18歳以下の子どもを持つ人の割合」は、基準値より2.8ポイント改善し、前年度より0.7ポイント改善している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
03-02-05	保育園トイレ温便座整備事業	19,770	18,920	
活動結果	保育園のトイレに温便座を整備した ・場所　名和東保育園、平洲保育園、明倫保育園、富木島保育園、東山保育園、横須賀保育園、加木屋南保育園 ・工期　2025. 5.28～2025.12.23		決算の内訳（主なもの）	
			14節	18,920
			課名	
			【幼児保育課】	
03-02-05	保育園園庭用日よけネット整備事業	59,450	54,688	
活動結果	保育園の園庭等の一部へ簡易に日よけネットを設置できる設備を整備した ・場所　渡内保育園、平洲保育園、東山保育園、養父保育園 ・工期　2025. 9.30～2026. 3.25		決算の内訳（主なもの）	
			14節	54,688
			課名	
			【幼児保育課】	
03-02-06	認可外保育施設利用料補助事業	5,910	5,134	
活動結果	認可保育施設の定員に空きがないことにより、認可外保育施設を利用する児童の保護者に対し、保育料の一部を補助し、市外の認可外保育施設も補助対象施設に加えて実施した ・対象経費 認可保育施設と認可外保育施設の保育料の差額 ・補助実績　延べ175人		決算の内訳（主なもの）	
			18節	5,134
			課名	
			【幼児保育課】	
03-02-06	保育体制強化事業費補助事業	10,755	2,389	
活動結果	民間保育事業者の保育士の負担軽減を図るため、保育設備の清掃、給食の配膳等を行う者を保育支援者として雇用した民間保育事業者に対し、その費用の一部を補助した ・補助実績　市内認定こども園2園		決算の内訳（主なもの）	
			18節	2,389
			課名	
			【幼児保育課】	
03-02-12	第２子以降認可外保育施設等利用料等給付事業	24,131	8,443	
活動結果	様々な保育ニーズに対応するため、認可外保育施設等を利用する第２子以降の児童に係る利用料等を給付した ・給付実績 認可外保育施設等利用給付　　延べ人数242人 認可外保育施設等副食費補助金　延べ人数102人		決算の内訳（主なもの）	
			18節	459
			19節	7,984
			課名	
			【幼児保育課】	

単位施策 03 子どもや子育て世代が安心できる居場所づくりを推進する

主管課：こども課

評価
横ばい

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
地域子育て支援拠点等の利用者数（人/年）	124,557	150,908	171,231	172,404	改善
身近に子どもが安心して過ごせる場があると思う１８歳以下の子どもを持つ人の割合（%）	74.9	71.6	73.4	73.5	悪化
放課後児童クラブの待機者数（人/年）	0	0	0	0	改善

成果指標動向

・「地域子育て支援拠点等の利用者数」は、基準値より47,847人、前年度より1,173人改善している。子育て支援センターの利用者数は、前年度より1,560人改善している。
・「身近に子どもが安心して過ごせる場があると思う18歳以下の子どもを持つ人の割合」は、前年度より0.1ポイント改善しているが、基準値からは1.4ポイント低下している。
・「放課後児童クラブの待機者数」は、0人を維持し順調である。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
03-02-01	絵本で親子ふれあい応援事業	2,699	1,524	
活動結果	赤ちゃんが誕生した家庭に対して、子どもの誕生を祝福し健やかに育っていくことを願い、絵本を3冊贈呈した ・対象者　子どもが誕生した家庭 ・受取者　738人 ・贈呈場所　市内13児童館及び緑陽コミュニティセンター		決算の内訳（主なもの）	
			10節	1,524
			課名	
			【こども課】	
03-02-03	子ども会活動補助事業	2,872	2,175	
活動結果	子ども会活動を活性化させ、児童の健全育成を図るため、活動経費に対して補助した ・対象　東海市子ども会連絡協議会、学区子ども会3団体、子ども会連合会1団体及び単位子ども会34団体 ・補助率10/10		決算の内訳（主なもの）	
			18節	2,175
			課名	
			【こども課】	
03-02-03	放課後児童健全育成補助事業	48,670	48,662	
活動結果	市内に開設された民間団体が行う放課後児童クラブの運営費及び事業費に対して補助した ・実施箇所数　渡内小学校区内　1箇所 平洲小学校区内　2箇所 加木屋南小学校区内　1箇所		決算の内訳（主なもの）	
			18節	48,662
			課名	
			【こども課】	
03-02-04	児童館外壁等改修事業	23,428	23,428	
活動結果	明倫児童館の外壁改修及び屋上防水工事を行った ・場所　富木島町貴船地内 ・内容　外壁改修　519.3㎡ 屋上防水　298.3㎡ ・工期　2025.10.30～2026. 3.17		決算の内訳（主なもの）	
			14節	23,428
			課名	
			【こども課】	
10-04-02	放課後児童健全育成事業	206,544	204,312	
活動結果	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生を対象に、学校の授業終了後に適切な遊びや生活の場を提供し、児童を健全に育成するため、市内12小学校内で放課後児童クラブを実施した ・対象児童　小学校1年生～6年生 ・7年度平均登録児童数　2,338人 ・7年度月平均利用人数　841人		決算の内訳（主なもの）	
			1節	160,683
			3節	18,561
			4節	10,936
			課名	
			【社会教育課】	

単位施策 04 支援を必要とする子どもへの体制を整備する

主管課：こども課

評価
横ばい

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
子育ての悩みについて、相談する場を知っている人の割合（%）	46.9	49.4	51.4	52.0	改善
障がい児福祉サービス延べ利用者数（人/年）	69,765	75,935	86,011	88,341	改善
児童虐待発生件数（件/年）	162	171	146	168	悪化

成果指標動向

・「子育ての悩みについて、相談する場を知っている人の割合」は、基準値から5.1ポイント、前年度から0.6ポイント改善している。年齢別では30代及び40代、職業別ではパート・アルバイト及び主婦が高い。
・「障がい児福祉サービス延べ利用者数」は、基準値から18,576人、前年度から2,330人改善している。
・「児童虐待発生件数」は、基準値から6件、前年度から22件悪化している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
03-02-01	母子・父子自立支援員設置事業	3,662	3,317	
活動結果	ひとり親家庭等の自立を支援するため、関係機関と連携して、就労支援、生活支援及び子育て支援を行う支援員を設置した ・母子・父子自立支援員　1名		決算の内訳（主なもの）	
			1節	2,235
			3節	847
			4節	206
			課名	
			【こども課】	
03-02-01	要保護児童対策地域協議会設置事業	67	58	
活動結果	児童相談の体制の充実や、要保護児童に関する地域関係機関のネットワークの強化のため、要保護児童対策地域協議会を開催した ・委員数　13人 ・開催回数　2回		決算の内訳（主なもの）	
			7節	56
			8節	2
			課名	
			【こども課】	
03-02-01	こども家庭センター運営事業	1,376	1,135	
活動結果	子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターの機能をこども家庭センターとして一体的に位置づけ、子どもに関わる相談支援体制を強化した		決算の内訳（主なもの）	
			7節	364
			8節	108
			17節	516
			課名	
			【こども課】	
03-02-07	養育支援訪問事業	5,197	5,197	
活動結果	児童の養育が困難な家庭に対し、専門的な相談指導・助言を行う保育士、助産師及び保健師を派遣し、家庭における児童の養育を支援した ・助産師派遣 22回　・保育士派遣 60回 ・保健師派遣 66回		決算の内訳（主なもの）	
			1節	2,982
			3節	1,124
			4節	644
			課名	
			【こども課】	
03-02-10	障がい児児童福祉サービス給付事業	1,180,042	1,124,376	
活動結果	児童福祉法に基づき、障がい児通所支援給付等を支給した ・児童発達支援給付　24,361日 ・放課後等デイサービス給付　63,863日 ・保育所等訪問支援給付　117日 ・障がい児相談支援給付　1,416件		決算の内訳（主なもの）	
			11節	1,407
			19節	1,122,969
			課名	
			【こども課】	

めざすまちの姿　01　安心して子育てができ、子どもが健やかに育っている

分野　1　子ども・子育て

施　策　02 子どもの学び・体験への支援

主管課：学校教育課

■施策の目標

子どもの健やかで豊かな心が育まれ、将来、社会のなかでたくましく生きていく力を身につけています。

■施策の基本方針

体験活動や食育活動などの学習機会を提供しながら、子どもたちが安心して学び、集団生活をとおして社会性を身につけることで、自ら学び、考え、行動する心を育みます。

また、学校施設長寿命化計画に基づき、長期的な視点による建物の建替えや改修を計画的かつ効率的に実施するとともに、子どもたちの心と体の健やかな成長を支援するため、学校や地域、関係機関などと連携を図ります。

■施策実現の財源投入状況　（単位：千円）

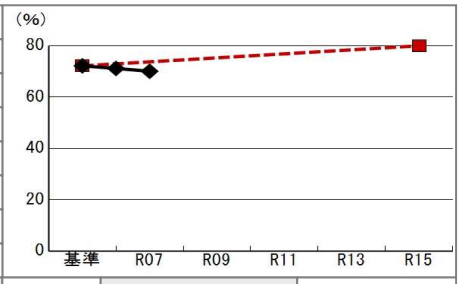
予算	R07年度	4,597,526	対前年比　103.2%	決算	R07年度	4,246,227	対前年比　96.7%
	R06年度	4,453,014			R06年度	4,390,344	

■まちづくり指標の推移

夢や目標を持っている児童生徒の割合（%）

指標NO.0002　　【指標特性】上がると良い指標

基準値	72.1
R06実績	71.1
R07実績	70.0
R08実績	
R09実績	
R10実績	
めざそう値 R10	76.0
めざそう値 R15	79.9



対基準値	悪化	R15めざそう値達成率	-26.9%
対前年比	悪化		

学校教育課

基準値	
R06実績	
R07実績	
R08実績	
R09実績	
R10実績	
めざそう値 R10	
めざそう値 R15	

対基準値		R15めざそう値達成率	
対前年比			

■施策全体の評価　横ばい

指標動向

・まちづくり指標は基準値より2.1ポイント低下している。年齢別では、前年度より小学生は1.5ポイント改善しているものの、中学生は3.3ポイント低下している。

施策全体評価の要因分析

・単位施策ではほぼ全ての成果指標が基準値より改善しているものの、まちづくり指標及び単位施策02の成果指標「自己肯定感を持っている児童生徒の割合」が低下しているため、施策全体では横ばいと評価する。

・まちづくり指標の悪化については、コロナ禍を機に学校行事等の活動を縮小等したことで、挑戦する意欲や能力を開発する機会が減少したこと、また、デジタル化の進展による体験機会の減少や、関心のある情報のみに触れるようになり、幅広い情報に触れる機会が減少したことによるものと考える。

・単位施策02の成果指標の悪化については、悩みや不安を抱える児童生徒が増加するとともに、家庭環境や養育の状況等、児童生徒を取り巻く環境が多様化していることが影響しているものと考える。

今後の方針

・子どもたちが異なる文化や歴史に触れる体験を通して視野や価値観を広げ、自らの将来や夢・目標を考えるきっかけとなるよう、引き続き、「小・中学生親善交流事業」による姉妹都市交流や「沖縄体験学習事業」等に取り組んでいく。

・悩みを抱える子どもへの支援として、引き続き、心の相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置、不登校傾向にある子どもたちの自立支援としての教育支援センターの設置等、段階に応じた多方面からの対策に取り組むとともに、今後も増加・複雑化することが想定される不登校傾向の児童生徒への対応方策の充実について検討していく。

単位施策 01 **子どもの生きる力を養い、学びの機会を提供する**

主管課：学校教育課

評価
順調

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
好きな授業がある児童生徒の割合（%）	90.5	88.7	90.6	91.7	改善
学校の授業がわかりやすいと答えた児童生徒の割合（%）	87.3	85.8	88.6	87.6	改善
給食が楽しいと感じる児童生徒の割合（%）	79.4	88.0	88.7	90.6	改善

成果指標動向

・「好きな授業がある児童生徒の割合」は、基準値より1.2ポイント改善している。年齢別では、前年度より小学生は1.8ポイント、中学生は0.3ポイント改善している。
・「学校の授業が分かりやすいと答えた児童生徒の割合」は、基準値より0.3ポイント改善している。年齢別では、前年度より小学生は1.6ポイント改善しているものの、中学生では3.8ポイント低下している。
・「給食が楽しいと感じる児童生徒の割合」は、基準値より11.2ポイント改善している。年齢別では、前年度より小学生は2.4ポイント、中学生は1.5ポイント改善している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
10-01-02	英語が話せる子ども育成事業	52,536	52,536	
活動結果	小学校から英語に触れ合う機会を作り、外国の言語や文化に関心を持たせ、国際社会の一員である自覚を高めるため、外国人英語指導支援員（ALT)を小中学校に配置し、小中学校で一貫した英語活動を実施した ・支援員　　12人 ・配置期間　2025年 4月～2026年 3月		決算の内訳（主なもの）	
			12節	52,536
			課名	
			【学校教育課】	
10-01-02	小学生親善交流事業	5,259	5,090	
活動結果	姉妹都市の米沢市及び釜石市を訪問し、産業及び文化等を学習し、米沢市及び釜石市の小学生と交流した ・参加者　　米沢市 小学5年生24人、釜石市 小学6年生24人 ・実施日程　米沢市　2026年 2月13日～15日（2泊3日） 　　釜石市　2025年 8月25日～27日（2泊3日）		決算の内訳（主なもの）	
			8節	58
			12節	5,032
			課名	
			【学校教育課】	
10-01-02	沖縄体験学習事業	109,746	109,707	
活動結果	沖縄の自然や文化に触れ、平和について考える体験学習を実施し、姉妹都市の沖縄市の中学生と交流した ・場　所　沖縄市等 ・参加者　中学2年生全員 ・実施月　2025年 6月(2泊3日)		決算の内訳（主なもの）	
			10節	20
			11節	22
			12節	109,665
			課名	
			【学校教育課】	
10-05-04	学校給食調理事業	861,784	857,333	
活動結果	給食調理業務に必要な賄材料を調達するとともに、給食業務を外部委託し専門業者による調理技術等を活用することにより、安心安全な給食を提供した		決算の内訳（主なもの）	
			10節	635,233
			12節	222,100
			課名	
			【学校教育課】	
10-05-04	学校給食食物アレルギー対応事業	809	259	
活動結果	食物アレルギーを有する児童生徒の給食対応として、主食の代替食を提供した ・対象食　主食（パン、麺、麦ごはん） ・代替食　ご飯（パックご飯） ・提供者数　27人		決算の内訳（主なもの）	
			10節	259
			課名	
			【学校教育課】	

単位施策 02 悩みを抱える子どもに寄り添った支援を充実させる

主管課：学校教育課

評価
横ばい

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
自己肯定感を持っている児童生徒の割合（%）	93.4	93.4	93.0	92.8	悪化
困った時に悩みを相談できる人が身近にいる児童生徒の割合（%）	84.0	85.8	84.6	87.3	改善
さまざまな人の考え方や思いの違いを理解して生活しようとしている児童生徒の割合（%）	88.6	89.6	89.0	90.1	改善

成果指標動向

・「自己肯定感を持っている児童生徒の割合」は基準値より0.6ポイント低下している。年齢別では、前年度より小学生は0.3ポイント改善しているものの、中学生は1.0ポイント低下している。
・「困った時に悩みを相談できる人が身近にいる児童生徒の割合」は基準値より3.3ポイント改善している。年齢別では、前年度より小学生は3.9ポイント、中学生は1.3ポイント改善している。
・「さまざまな人の考え方や思いの違いを理解して生活しようとしている児童生徒の割合」は基準値より1.5ポイント改善している。年齢別では、前年度より小学生は0.3ポイント、中学生は1.7ポイント改善している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
10-01-02	スクールカウンセラー派遣事業	7,139	6,329	
活動結果	不登校傾向や特別な支援を必要とする児童等に助言を行うため、県からの派遣が少ない小学校へスクールカウンセラーを派遣し、カウンセリングを実施した ・スクールカウンセラー　5人 ・実施人数　児童・生徒330人、保護者152人		決算の内訳（主なもの）	
			7節	6,014
			8節	315
			課名	
			【学校教育課】	
10-01-02	教育支援センター設置事業	33,467	31,721	
活動結果	不登校・ひきこもりの児童生徒の復帰、学習の支援を行うため、教育支援センター「ほっと東海」を運営し、自然豊富な環境の中で体験する青空教室を実施した ・青空教室開催場所　国立若狭湾青少年自然の家 ・日程　2025年 9月13日～15日 ・参加者　小学生8人、中学生12人		決算の内訳（主なもの）	
			1節	19,478
			3節	6,428
			4節	3,829
			課名	
			【学校教育課】	
10-01-02	特別支援教育支援員設置事業	64,260	64,076	
活動結果	通常の学級に在籍する発達障がいの傾向がある児童の特性に応じて学校生活上の支援を行うことで、円滑な集団生活を送ることが出来るよう、特別支援教育支援員を配置した ・支援員　26人 ・勤務時間　5時間/日		決算の内訳（主なもの）	
			1節	39,113
			3節	14,570
			4節	9,691
			課名	
			【学校教育課】	
10-01-02	障がい児サポート事業	107,557	106,570	
活動結果	身体障がいや重度自閉症等の障がいのある児童生徒に対し、安全な学校生活を送ることができるよう支援するため、障がい児サポーターを配置した ・支 援 員　38人 ・勤務内容　障がいのある児童生徒への日常生活動作の介助 ・勤務時間　6時間/日		決算の内訳（主なもの）	
			1節	65,698
			3節	24,080
			4節	16,119
			課名	
			【学校教育課】	
10-01-02	学校の居場所づくり事業	31,179	30,881	
活動結果	子どもたちの悩みを解消するため、保健室で養護教諭とともに児童生徒の相談に対応する心の相談員を配置(小学校6校、中学校6校)した ・心の相談員　12人 ・勤務内容　不登校、家族・家庭生活等の相談 ・勤務時間　5.5時間/日		決算の内訳（主なもの）	
			1節	19,706
			3節	6,367
			4節	4,263
			課名	
			【学校教育課】	

単位施策 03 子どもが安心安全で快適に学ぶことができる環境を整備する

主管課：学校教育課

評価
順調

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
学校施設の長寿命化改修率（%）	24.1	27.0	33.6	38.0	改善

成果指標動向

・「学校施設の長寿命化改修率」は対基準値から13.9ポイント、対前年度から4.4ポイント改善している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
10-02-01	小学校外壁等改修事業	239,861	239,860

活動結果

建物の長寿命化を図るため、老朽化した校舎等の外壁改修及び屋上防水を実施した
・場所　渡内小学校本館、明倫小学校本館、加木屋南小学校北館
・内容　外壁改修工事、屋上防水改修工事
・工期　2025．6月～2026．2月

決算の内訳（主なもの）	
14節	239,860
課名	
【学校教育課】	

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
10-02-01	小学校プール解体事業	62,518	62,517

活動結果

学校や周辺環境の改善及び土地の有効活用を図るため、使用していないプールを解体及び調査を行った
・場所　富木島小学校プール(解体)
　　平洲小学校プール(調査)
・内容　プール解体工事、アスベスト含有調査
・工期　2025．5月～2026．1月

決算の内訳（主なもの）	
12節	968
14節	61,549
課名	
【学校教育課】	

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
10-02-01	小学校屋内運動場空調機設置事業	10,079	9,935

活動結果

記録的猛暑への対策として、屋内運動場に空調機を設置し、災害時に備えた空調機用の非常用発電機の実施設計を行った
・場所　全小学校の屋内運動場
・内容　空調機設置工事、電気引込工事負担金、非常用発電機設置工事実施設計

決算の内訳（主なもの）	
12節	6,106
18節	3,829
課名	
【学校教育課】	

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
10-03-01	中学校トイレ洋式化整備事業	110,330	110,330

活動結果

トイレの環境改善を図るため、和式便器を洋式化及び小便器に自動洗浄装置を設置した
・場所　全中学校の普通教室に隣接するトイレ
　　男女32箇所
・内容　便器の洋式化(164便器)、小便器への
　　自動洗浄装置の設置(172個)

決算の内訳（主なもの）	
14節	110,330
課名	
【学校教育課】	

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
10-05-04	学校給食センター校務系ネットワーク環境整備事業	2,242	2,242

活動結果

学校給食センターと学校との校務系ネットワークの環境を整備した
・場所　学校給食センター明倫調理場
・内容　校務系ネットワーク環境整備
・工期　2025．7．7～2025．7.28

決算の内訳（主なもの）	
11節	143
14節	1,518
17節	581
課名	
【学校教育課】	

単位施策 04 学校と家庭・地域の連携を充実させる

主管課：学校教育課

評価
順調

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
学校支援協議会におけるボランティア活動の参加者数（人/年）	2,821	3,401	3,565	3,413	改善
学校教育活動に参加したいと考えている人の割合（%）	25.0	26.5	28.8	26.5	改善

成果指標動向

・「学校支援協議会におけるボランティア活動の参加者数」は、前年度より152人減少しているが、基準値より592人改善している。
・「学校教育活動に参加したいと考えている人の割合」は、基準値より1.5ポイント改善している。年齢別では、前年度より30～39歳で8.4ポイント低下しているが、65～74歳で2.3ポイント改善している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
10-01-02	学校評価事業	1,176	1,080	
活動結果	児童生徒や地域の人を対象に毎年実施するアンケート調査をもとに、自己評価と学校評議員又は学校支援協議会委員による評価を実施し、校長の学校運営に反映させた ・回答数　13,082件 ・回収率　87.2%		決算の内訳（主なもの）	
			10節	12
			12節	1,068
			課名	
			【学校教育課】	
10-01-02	学校支援協議会設置事業	4,238	3,342	
活動結果	学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育て、見守る体制を整えるために小学校に学校支援協議会を設置した ・設置　11小学校 ・委員　各学校10人以内		決算の内訳（主なもの）	
			7節	1,298
			10節	1,944
			11節	100
			課名	
			【学校教育課】	
10-01-02	学校運営協議会設置検証事業	116	77	
活動結果	地域、家庭の学校運営への参画や支援、協力を促進し、「地域とともにある学校づくり」を進めるため、モデル校に学校運営協議会制度を導入した ・モデル校　三ツ池小学校、加木屋中学校 ・委員　各学校10人以内		決算の内訳（主なもの）	
			7節	72
			10節	5
			課名	
			【学校教育課】	
10-01-02	吹奏楽地域クラブ運営事業	6,604	4,975	
活動結果	東海市の中学生が演奏活動に親しむことができるよう、休日の活動の場として吹奏楽地域クラブを設置した ・期間　2025年 9月～2026年 3月 ・場所　6中学校		決算の内訳（主なもの）	
			10節	30
			11節	195
			12節	4,750
			課名	
			【学校教育課】	
10-04-01	地域学校協働活動検証事業	674	530	
活動結果	幅広い地域住民等の参画により、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を進めるため、モデル校で地域学校協働活動を実施検証した ・モデル校　三ツ池小、加木屋中		決算の内訳（主なもの）	
			7節	42
			10節	394
			11節	94
			課名	
			【社会教育課】	

単位施策 05　地域と協力し、子どもの健全な成長を支援する

主管課：社会教育課

評価
順調

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
体験活動事業の参加者数（人/年）	15,128	17,194	18,438	17,686	改善
子どもの健全育成に関わる事業への市民、団体、事業者の協力者数（人/年）	1,619	1,956	1,988	2,052	改善

成果指標動向

・「体験活動事業の参加者数」は、前年度から752人減少しているが、基準値との比較では2,558人増加している。
・「子どもの健全育成に関わる事業への市民、団体、事業者の協力者数」は、基準値より433人、前年度より64人増加しており、順調に推移している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
10-04-01	ふれあい交流推進事業	300	300	
活動結果	子どもたちと大人との交流の場を設け、豊かな体験活動や異なる年齢の人とのふれあい交流活動を実施した ・期　　間　2025年 6月～2026年 3月 ・実施地区　3中学校区(上野、平洲、横須賀中学校区) ・参加者数　延2,228人		決算の内訳（主なもの）	
			12節	300
			課名	
			【社会教育課】	
10-04-01	学習支援教室開催事業	3,879	3,145	
活動結果	中学生を対象に、学習する場を提供し、学習習慣を身につけ基礎学力を向上させる学習支援教室を実施した ・期　　間　2025. 4.26～2026. 3.15(毎週土・日曜日) ・場　　所　しあわせ村保健福祉センター、横須賀図書館 ・参加者数　延1,339人		決算の内訳（主なもの）	
			1節	2,441
			8節	238
			17節	322
			課名	
			【社会教育課】	
10-04-02	子ども教室開催事業	25,439	23,373	
活動結果	小学生を対象に12小学校の特別教室等を利用して、地域のボランティア講師により開催するスポーツや文化活動等の体験教室を週3回程度実施した ・実施期間　2025. 5.10～2026. 3. 7(延896回) ・実施場所　12小学校特別教室等 ・参加者数　延10,021人		決算の内訳（主なもの）	
			1節	19,807
			7節	1,472
			11節	866
			課名	
			【社会教育課】	
10-04-02	ものづくり子ども教室開催事業	2,907	2,726	
活動結果	小学生を対象に、子ども教室の特別教室として、ものづくりに関するイベントを開催した ・開 催 日　2025年 8月 5日 ・場　　所　芸術劇場、ユウナルステーション他 ・参加者数　1,900人 ・内　　容　ものづくり体験講座、工場見学、サイエンスショー等		決算の内訳（主なもの）	
			1節	260
			8節	12
			12節	2,453
			課名	
			【社会教育課】	
10-04-03	青少年居場所づくり推進事業	438	254	
活動結果	青少年に対し良好な対人関係づくりを支援するため、大人や仲間と交流を図り、青少年の拠り所となるようなイベントを開催した ・ボルダリング競技（名古屋市） 開催日及び参加者数　2025年 8月26日　小中学生等38人 ・ボウリング競技（半田市） 開催日及び参加者数　2025年12月24日　小中学生等45人		決算の内訳（主なもの）	
			10節	21
			12節	226
			13節	5
			課名	
			【社会教育課】	